

第 337 回

**クローズアップ**

この会社のココに注目!

名古屋支店発

**(株) エイテック**

(TDB企業コード 401167584)

**プレインベアのシェア拡大を目指す**

(株)エイテックは、ボールトランスファ(運搬装置)の製造販売やエアーツールのメンテナンスを手がけている会社だ。近年注力しているのが、自社開発した 360°自由搬送機器の「プレインベア」である。

ボールトランスファとは一般的には聞き慣れない名称だが、重量物などを搬送、据え付ける際の位置決めに使われる省力機器である。

金型などの重量物の搬送は、危険であると同時に大変な手間がかかるものだ。しかし、ボールトランスファを使えば、重量物をわずかな力で、360度自由な方向に運ぶことができる。

少人数で短時間のうちに正確な作業ができ、現場作業の合理化やコストダウンにつながることから、多くの工場で使用されている。

当社のボールトランスファ「プレインベア」は、重量物の負荷を受ける内部のボールベアリングの配置などの工夫をしたことにより、従来の他社製品では上向き用、下向き用に別商品となっていたものを、上向き、下向きの区別なく使用することができるため、導入価格を低く抑えることができるという。

また、従来のボールトランスファは、内部のボールベアリングの隙間に細かなゴミや水が入ることを避けられなかったが、「プレインベア」は、特殊球面(PAT.P)の利点を生かし、底にゴミ排出穴を作り、内部に入り込んだゴミを出すことが可能である。それにより、過酷な状況下でも正常に作動し、スムーズな回転



当社開発の「プレインベア」

を維持することができる。

ボールトランスファは、人目にはつかない部分で使われ、市場も小さいため競合は激しいが、「プレインベア」の性能が評価され、多くのレーザー加工機に採用されているそうだ。

また、クリーンルーム用に開発したプレインベアの「センタリングユニット」は、寸法制度を高め、発塵を極限まで抑えることができるといい、いびつな形状のものや液晶などの位置決めに適している。

不況による国内メーカーの設備投資の落ち込みで、市場が縮小することが予想されることから、海外への販売にも注力しており、台湾や韓国の企業でも採用されている。

今後については、国内シェアの拡大を目指すほか、2013年には韓国に現地法人を設立する方針で、将来的には海外での売上が全体の3割を占めることができるような体制を構築することを目標としている。

(名古屋支店情報部 稲熊 浩明)

**会社概要****(株)エイテック**

本社:大府市北崎町清水ケ根 72-2

電話:0562-85-3101

代表:英保真一郎氏(1969年生、愛知県出身)

業種:トランスファ開発、卸

従業員:30名

資本金:3000万円 設立:1999年8月

年売上高:約5億5000万円(2012年7月期)

URL:<http://www.planeveyor.com/>